

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学期	単元 評論小説 【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解しようとしている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述しようとしている。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述している。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	○	○	○	24
	定期考査						○	○		1
2 学期	単元 評論小説 【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解しようとしている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述しようとしている。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述している。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	○	○	○	29
	定期考査						○	○		1

3 学 期	単元 評論小説 【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解しようとしている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述しようとしている。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述している。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどについて伝え合おうとしている。	○	○	○	15
										合計 70

高等学校 令和6年度		教科	国語	科目	日本文化
教 科：国語	科 目：日本文化	単位数： 2 単位			
対象学年組：第 3 学年 A 組 ～ B 組					
教科担当者：（ AB組：田鹿、須賀、宮之原 ）					
使用教科書：（ ）					
教科 国語		の目標： 自己や社会への理解、地域との横断的な活動を通して自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質・能力を育成する。			

【知識及び技能】	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 日本文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実にはらし、よりよい社会の実現に貢献できるように、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 ・私たちが暮らす大島の歴史と文化について学習し、地域社会への理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大島の地域文化について考えるとともに、大島の歴史、文化、風土、自然について広く考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大島の地域文化の多様性についての考察をもとにしながら、自分がどのように考え、どのように受け入れるべきかについて議論している。	○「文学の散歩道」 ・事前学習 ・文学の散歩道 （「波浮の港を愛する会」と連携する） ・事後学習 ・発表	【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・調べる力 ・提出物 ・面接 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況 ・提出物 ・面接 ◆単元の具体的な指導目標に即した評価規準については、別に定める。	○	○	○	24
2 学期	【知識及び技能】 ・私たちが暮らす大島の歴史、風土、自然について学習し、地域社会への理解を深めるとともに、地域社会に関する具体的な知識及び技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大島の地域文化の多様性から学んだことをもとにしながら、地域社会の中に生きる高校生として何ができるかについて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域ボランティアを通して、大島の地域文化や地域社会の環境問題に対して、興味や関心を抱き、さまざまな課題に積極的に関わろうとしている。	○「地域ボランティア」 ・地域ボランティア事前学習 ・地域ボランティア ・地域ボランティア事後学 ・地域ボランティア 発表	【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・調べる力 ・提出物 ・面接 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況 ・提出物 ・面接 ◆単元の具体的な指導目標に即した評価規準については、別に定める。	○	○	○	26
3 学期	【知識及び技能】 ・私たちが暮らす大島の歴史、文化、風土、自然、社会について学習し、地域社会への理解を深めるとともに、地域社会に関する具体的な知識及び技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大島の地域文化の多様性から学んだことをもとにしながら、文化を継承し時代に伝えるために何ができるか考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域ボランティアを通して、大島の地域文化や地域社会の環境問題に対して、興味や関心を抱き、さまざまな課題に積極的に関わろうとしている。	○「御神火太鼓」 ・事前学習 ・練習 ・発表	【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・調べる力 ・提出物 ・面接 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況 ・提出物 ・面接 ◆単元の具体的な指導目標に即した評価規準については、別に定める。	○	○	○	20
							合計 70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方や考え方を要領よくしなやかに、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	領域		知	思	態	配当 時数
				基 礎	書 読				
1 学 期	現代の小説口 【知識及び技能】 ・登場人物の気持ちが変化する過程を、登場人物の身の上起こった出来事を通して読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(I)(Iイ) ・文学的な文章における文体的特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。(I)(Iエ) 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(B)(Iア) ・「読むこと」において、語り手の視点や場面設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(B)(Iイ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の身の上起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。			○	○	○	10
	現代の詩 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体的特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作品の見え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体的特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。(I)(Iエ) 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。(B)(Iエ) ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B)(Iア) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている			○	○	○	6
	現代の小説口 【知識及び技能】 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体的特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめた形で発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(I)(Iイ) 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてほしいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(A)(Iエ) ・「読むこと」において、語り手の視点や場面設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(B)(Iイ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている				○	○	12
2 学 期	随想（芸術） 【知識及び技能】 ・随想における文体的特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・随想における文体的特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。(I)(Iエ) 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察している。(B)(Iエ) ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(B)(Iキ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。			○	○	○	8
	定期考査						○	○	1

2 学 期	近代の小説Ⅰ 【知識及び技能】 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物語の展開と出来事を整理しながら、登場人物それぞれの心情をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 (D)イ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてほしいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 (A(1)エ) ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について詳細することを通して、内容を解釈している。 (B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。 ・指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。	○	○	○	○	○	15
	戦争と文学Ⅰ 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に見え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人2台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の遣いを増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 (A(1)イ) ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 (B(1)キ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、登場人物の言動の背景を理解しようとしている。	○	○	○	○	○	13
	現代の小説Ⅱ 【知識及び技能】 ・短編小説の特色を理解し、文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に見え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人3台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 (1)エ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 (A(1)フ) ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 (B(1)カ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表現に着目しながら積極的に作品を読み取り、理解を深めようとしている。	○	○	○	○	○	14
	近代の小説Ⅲ 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク 一人1台端末の活用 一人4台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 (D)イ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 (A(1)イ) ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 (B(1)オ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言から、登場人物の考えの違いを粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	○	○	15
	定期考査			○	○				1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論文演習

教 科： 国語 科 目： 論文演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（ A組：竹内聖人 （ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書： 国語表現（大修館）、ステップアップ小論文（第一学習社）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目 論文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 小論文とは何か 【知識及び技能】 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○ ○	【知識・技能】 小論文とは何かを理解し、適切な構成や展開のしかたなどの基本的な書き方を身につけている。 【思考・判断・表現】 テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てながら小論文を書き、推敲して内容を確かめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小論文の執筆に強い関心をもち、よりよい小論文を書くために、基本的な構成を意欲的に学び取ろうとしている。	○	○	○	10
	B 単元 反論を想定して書く 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○ ○	【思考・判断・表現】 ○できるだけ多く考えた理由から取捨選択して説得力があるかどうかを吟味し、自分の意見を明確に伝えている。 ○自分の意見と対立する意見とともに理由が明示されており、適切な五段落構成で筋道を立てて説得力のある小論文を書き、推敲して内容を正している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○小論文の執筆に強い関心をもち、より説得力のある小論文を書くために、対立する意見の想定や五段落構成の工夫などを意欲的に学び取ろうとしている。	○	○	○	10
	C単元 効果的な自己PR 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○ ○	【思考・判断・表現】 ○効果的な自己PRをする目的に応じて、自分に関わる事柄の中から適切な話題を判断して情報を収集、整理し、原稿を書きながら発表に向けた思考を深めている。 ○発表内容が効果的に伝わるように、自己PRの冒頭や厳選した具体例を効果的に配置して話の構成や端的な表現を工夫し、適切な声の大きさや抑揚、速さで発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○進学や就職の面接に生かすという目的をしっかりと意識しながら、印象に残る自己PRができるように意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	10

2 学 期	D単元 文章を読み取って書く 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【思考・判断・表現】 ○課題文の内容を正確に把握し、その要旨をきちんとまとめて、伝えたいことを明確に書いている。 ○適切な構成メモに沿って、具体例を効果的に配置し、文章の構成や展開を工夫して書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題文を正確に読み取って内容を要約し、それに対する自分の意見を効果的に論じることに関心をもって熱心に取り組もうとしている。	○	○	○	○	10	
	E単元 統計資料を読み取って書く 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【思考・判断・表現】 ○統計資料の内容を正確に読み取り、その分析をきちんとまとめて、伝えたいことを明確に書いている。 ○統計資料から適切な根拠となる情報を取り出した的確に説明し、構成や表現のしかたを工夫して書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○統計資料を正確に読み取って分析し、視点を整理して自分の意見を効果的に論じることに関心をもって熱心に取り組もうとしている。	○	○	○	○	10	
	F単元 発想を広げて書く 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【思考・判断・表現】 ○指示された発想法を適切に使い、豊かな発想によるメモやグループ表を作っている。 ○発想メモやグループ表を有効に使い、広げた発想を構成に活用して筋道を立て、逆転の発想で思いついたことは対立意見として用いて書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○さまざまな発想法と、発想法による小論文の執筆に強い関心をもって熱心に取り組もうとしている。	○	○	○	○	10	
3 学 期	G単元 建設的な議論の進め方 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【思考・判断・表現】 ○話し合いのステップを正しく判断しながら積極的に参加し、聞き取った情報を適切に吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○多様な角度から意見を出し合ってメリット・デメリットを吟味し、話し合いの目的に応じた結論の出し方について工夫したり積極的に批評したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○話し合いの目的を正しく理解して意欲的に議論に参加し、積極的に意見を述べたり、他者の意見を尊重しながら結論を導こうとしている。	○	○	○	○	10
合計											
70											

高等学校 令和6年度

教科 国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～B組

教科担当者：(A発展組：竹内) (A標準組：須賀) (B発展組：竹内) (B標準組：須賀)

使用教科書：(論理国語 (大修館書店))

教科 国語

の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	領域			知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読				
1 学期	1 自己と他者 【知識及び技能】 ・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「贈り物」についての筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 <知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。						9
	2 コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 ・対比的な概念を的確にとらえ、筆者の主張をつかむ。 【思考力・判断力・表現力等】 ・コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 <知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。						8
	定期考査								1
	3 メディアの変容 【知識及び技能】 ・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 <知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。						8
	定期考査								1

2 学 期	4 言語の探究 【知識及び技能】 ・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。							8			
	5 政治と社会 【知識及び技能】 ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・意思決定のしぐみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。								10		
	定期考査								○	○		1	
	6 存在への問い 【知識及び技能】 ・具体的な説明と抽象論との関係をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の身体観を的確に読み取り、身体や自己意識に対する認識を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもつ。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。〔(1)イ〕 ・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。〔(1)ウ、エ〕 ・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。〔B(1)イ、エ〕 ・「読むこと」において、筆者の思考をふまえて、既有的知識や経験を基に自分の考えを深められている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。						○	○	○	10	
定期考査									○	○		1	
3 学 期	7 環境へのまなざし 【知識及び技能】 ・具体例との関係に注意しながら筆者の主張をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物多様性と文化や社会との関係について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体例と論の関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 ＜知識及び技能＞ ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ＜思考・判断・表現＞ ・書くこと ・読むこと ・教材 教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用 一人1台端末の活用し、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例と論の関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。						○	○	○	○	6

高等学校 令和6年度 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A組、B組

教科担当者： A組：大井健一郎、B組：西山大介

使用教科書：（ 数学B Standard 東京書籍 ）

使用教材：（ 数学B WRITE ）

教科の目標：

- 【知識・技能等】 基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
・事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2章 統計的な推測 【知識・技能】 ・標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質や抽出方法、用語などについて理解させる。 ・確率変数や確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができるようにする。 ・確率変数の和の平均や、独立な確率変数の積の平均、和の分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・Xの1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考察することができるようにする。 ・二項分布の次数や確率の値をいろいろ変えることで、確率変数の平均や分散はどのように変化するかを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・独立である確率変数X、Yの積XYの平均と、X、Yの平均にどのような関係があるのかを考えようとする態度を養う。 ・事象を統計の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導事項 1 節 ①母集団と標本 2 節 ①確率分布 ②確率変数の平均と分散の性質 ③確率変数の和と積 ④二項分布	2章 統計的な数推測 【知識・技能】 ・標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質や抽出方法、用語などについて理解している。 ・確率変数や確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。 ・確率変数の和の平均や、独立な確率変数の積の平均、和の分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・Xの1次式で表される確率変数について、分散や標準偏差がどのように表されるかを考察することができる。 ・二項分布の次数や確率の値をいろいろ変えることで、確率変数の平均や分散はどのように変化するかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・独立である確率変数X、Yの積XYの平均と、X、Yの平均にどのような関係があるのかを考えようとしている。 ・事象を統計の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学期	2 章 統計的な推測 【知識・技能】 ・連続分布について理解し、その確率を求めることができるようにする。 ・正規分布に従うときの確率を求めることができるようにする。 ・二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができるようにする。 ・母集団分布を活用して母平均や母分散、母標準偏差を求めたり、標本平均の平均や分散、確率を求めたりすることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・一般の正規分布を標準化刷ることで、標準正規分布に従うことを説明することができるようにする。 ・母平均や母比率に関する仮説検定を行い、母集団の関する予想について判断することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・信頼度 95% の信頼区間と比較して、信頼度 99% の信頼区間について考えようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	指導事項 3 節 ① 正規分布 4 節 ① 母平均の推定 ② 仮説検定	2 章 統計的な数推測 【知識・技能】 ・連続分布について理解し、その確率を求めることができる。 ・正規分布に従うときの確率を求めることができる。 ・二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・母集団分布を活用して母平均や母分散、母標準偏差を求めたり、標本平均の平均や分散、確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・一般の正規分布を標準化刷ることで、標準正規分布に従うことを説明することができる。 ・母平均や母比率に関する仮説検定を行い、母集団の関する予想について判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・信頼度 95% の信頼区間と比較して、信頼度 99% の信頼区間について考えようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	1 章 数列 【知識・技能】 ・一般項から数列の各項を求めたり、数列の各項から一般項を求めたりすることができるようにする。 ・等差数列についての基本的な用語を理解し、数列の各項から一般項を求めたり、初項や公差を用いて第 n 項までの和を求めたりすることができるようにする。 ・等比数列についての基本的な用語を理解し、数列の各項から一般項を求めたり、初項や公比を用いて第 n 項までの和を求めたりすることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方について具体的に考察することができるようにする。 ・等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方について具体的に考察することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一定の数を次々に加えて得られるという規則をもとにして、等差数列の一般項について考えようとする態度を養う。 ・一定の数を次々に掛けて得られるという規則をもとにして、等比数列の一般項について考えようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導事項 1 節 ① 数列 ② 等差数列 ③ 等差数列の和 ④ 等比数列 ⑤ 等比数列の和	1 章 数列 【知識・技能】 ・一般項から数列の各項を求めたり、数列の各項から一般項を求めたりすることができる。 ・等差数列についての基本的な用語を理解し、数列の各項から一般項を求めたり、初項や公差を用いて第 n 項までの和を求めたりすることができる。 ・等比数列についての基本的な用語を理解し、数列の各項から一般項を求めたり、初項や公比を用いて第 n 項までの和を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方について具体的に考察することができる。 ・等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方について具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一定の数を次々に加えて得られるという規則をもとにして、等差数列の一般項について考えようとしている。 ・一定の数を次々に掛けて得られるという規則をもとにして、等比数列の一般項について考えようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	1章 数列 【知識・技能】 ・ Σ の公式を利用して、与えられた和を求めることができるようにする。 ・階差数列についての基本的な性質を利用して、数列の一般項を求めることができるようにする。 ・漸化式の基本的な性質を理解し、漸化式から具体的な項の値を求めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・ Σ を用いて表された数列の和を記号を用いずに表現したり、数列の和を Σ を用いて表したりすることができるようにする。 ・与えられた漸化式を、どのように変形すればよいのかを考察することができるようにする。 ・数学的帰納法を用いて、整数の性質や等式、不等式を証明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	指導事項 2節 ①数列の和と記号 Σ ②いろいろな数列 3節 ①漸化式 ②数学的帰納法	1章 数列 【知識・技能】 ・ Σ の公式を利用して、与えられた和を求めることができる。 ・階差数列についての基本的な性質を利用して、数列の一般項を求めることができる。 ・漸化式の基本的な性質を理解し、漸化式から具体的な項の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ Σ を用いて表された数列の和を記号を用いずに表現したり、数列の和を Σ を用いて表したりすることができる。 ・与えられた漸化式を、どのように変形すればよいのかを考察することができる。 ・数学的帰納法を用いて、整数の性質や等式、不等式を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習	・統計的な推測、数列の基本事項の確認 ・統計的な推測、数列のより発展的な問題の演習	・統計的な推測、数列について基本の概念を理解し、定理等を活用できる。 ・発展問題に取り組む中で、解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度 教科 数学 科目 数学ⅠA演習

教科：数学 科目：数学ⅠA演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：大井

使用教科書：（数学Ⅰ・A Standard 東京書籍）

使用教材：（ベーシックスタイル数学演習ⅠA 数研出版）

教科の目標：

【知識・技能等】 基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学ⅠA演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。さらに、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、数学と人間の活動とのかかわりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 数と式 【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができるようにする。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算できるようにする。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができるようにする。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 2章 2次関数 【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようにする。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解することができるようにする。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係のついて、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができるようにする。	指導事項 1節 式の計算 - 展開 - 因数分解 2節 実数 - 実数 - 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 - 不等式と1次不等式 - 不等式の応用 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2次関数 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 2節 2次方程式と2次不等式 2次関数のグラフとx軸の共有点 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数 2次不等式	1章 数と式 【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 2章 2次関数 【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係のついて、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	14

	・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする創造性の基礎を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようする態度を養う。		・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
1 学 期	定期考査 3章 図形と計量 【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できるようにする。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解できるようにする。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理に関連付けて理解できるようにする。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができるようにする。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。 4章 データの分析 【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解できるようにする。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができるようにする。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができるようにする。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法hなどを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができるようにする。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする創造性の基礎を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導事項 3章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 1 直角三角形と三角比 2 三角比の相互関係 2節 三角比の拡張 1 三角比と座標 2 三角比の性質 3節 三角形への応用 1 正弦定理・余弦定理・面積の公式 2 空間図形の計量 4章 データの分析 1節 データの分析 1 データの散らばり 2 データの相関 2節 データの分析の応用 1 データの分析を利用した問題解決 3節 仮説検定の考え方 1 仮説検定の考え方	2章 統計的な数推測 【知識・技能】 ・連続分布について理解し、その確率を求めることができる。 ・正規分布に従うときの確率を求めることができる。 ・二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・母集団分布を活用して母平均や母分散、母標準偏差を求めたり、標本平均の平均や分散、確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・一般の正規分布を標準化刷ることで、標準正規分布に従うことを説明することができる。 ・母平均や母比率に関する仮説検定を行い、母集団の関する予想について判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・信頼度95%の信頼区間と比較して、信頼度99%の信頼区間について考えようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○		1
			○	○	○	14	

	定期考査			○	○		1
2 学 期	5章 場合の数と確率 1章 場合の数と確率 【知識・技能】 ・和集合、補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数えお求めることができるようにする。 ・順列の総数nPrや階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができるようにする。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができるようにする。 ・組合せの総数nCrを理解し、計算することができるようにする。 ・順列や組合せの考え方をを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができるようにする。 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めることができるようにする。 ・積事象や和事象、排反事象や確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができるようにする。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象や余事象の確率を求めることができるようにする。 ・独立な試行と反復試行の確率について理解し、その確率を求めることができるようにする。 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を計算することができるようにする。 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができるようにする。 ・円順列や重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができるようにする。 ・並び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができるようにする。 ・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象の確率の求め方について考察することができるようにする。 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができるようにする。 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合や図を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・事象を確率の考え方をを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	指導事項 1節 集合と場合の数 ①数え上げの原則と集合の要素の個数 ②順列 ③組合せ 2節 確率とその基本性質 ①事象と確率 ②確率の基本性質 ③確率の基本性質 ④独立な思考の確率 ⑤反復試行の確率 ⑥条件付き確率 ⑦期待値	5章 場合の数と確率 【知識・技能】 ・和集合、補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数えお求めることができる。 ・順列の総数nPrや階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 ・組合せの総数nCrを理解し、計算することができる。 ・順列や組合せの考え方をを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めることができる。 ・積事象や和事象、排反事象や確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象や余事象の確率を求めることができる。 ・独立な試行と反復試行の確率について理解し、その確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を計算することができる。 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 ・円順列や重複順列について図をかくなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができる。 ・並び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象の確率の求め方について考察することができる。 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合や図を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・事象を確率の考え方をを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（発展：横戸） （標準：大橋） （組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（LANDMARK Fit English Communication Ⅲ（啓林館）、同ワークブック、TAGAKI Advanced 1（mpi））

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学期	A 単元 第1章 (Lesson1-Lesson2) 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 すべての領域について一定の支援を活用して行う。 (1) 聞くこと 必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握する。 (2) 読むこと 必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 (3) 話すこと [やり取り] 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けること。 (4) 話すこと [発表・やり取り] 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 (5) 書くこと 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝える。 ＜レッスンのテーマ＞ L1 イギリスの小さな町を有名にした町おこし L2 輸血技術の向上に貢献した黒人医師 ・教材 教科書	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	27
									○	○		1

1 学 期	B 単元 第2章 (Lesson3-Lesson4) 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 すべての領域について一定の支援を活用して行う。 (1) 聞くこと 必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握する。 (2) 読むこと 必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 (3) 話すこと〔やり取り〕 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けること。 (4) 話すこと〔発表・やり取り〕 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 (5) 書くこと 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝える。 ＜レッスンのテーマ＞ L3 自然界のものをヒントに開発された発明品 L4 避けられるべき差別的な言葉 ・教材 教科書						【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					27
	定期考査									○	○		1
2 学 期	C 単元 第3章 (Lesson5-Lesson6)) 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 すべての領域について一定の支援を活用して行う。 (1) 聞くこと 必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握する。 (2) 読むこと 必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 (3) 話すこと〔やり取り〕 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けること。 (4) 話すこと〔発表・やり取り〕 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 (5) 書くこと 多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝える。 ＜レッスンのテーマ＞ L5 イタリアのベニスと広島島の厳島神社の高波対策 L6 病気で両脚を失った女性の新しい生き方 ・教材 教科書						【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					27
	定期考査									○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語発展演習

教科：外国語 科目：英語発展演習 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：（小野）

使用教科書：（ LANDMARK Fit English Communication III（啓林館） ）

使用教材：（ CNN Workbook Extended Course 2023（朝日出版社） ）

（ 【新課程対応】共通テストドリル英語リーディング 10 minutes 【改訂第3版】（Z-KAI） ）

（ 【新課程対応】共通テストドリル英語リスニング 10 minutes 【改訂第3版】（Z-KAI） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語発展演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕					
1 学 期	A 単元 第1章 【知識及び技能】 教材別・テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 教材別・テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材別・テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・教材別の指導事項 1) CNN Workbook ・Emotional Reunions ・Scan and Save ・Dangerous Trends ・One More Giant Leap 2) 共通テストリーディング ・メモや告知の読み取り 3) 共通テストリスニング ・短い発話の聞き取り ・指示・説明の聞き取り	○	○	○	○	【知識及び技能】 教材別・テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 教材別・テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材別・テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	25
								○	○		1

[illegible]

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語文法演習

(Next Stage Best Trainer (桐原書店))

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読むこと、書くことの二つの領域について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。	読むこと、書くことの二つの領域について、論理性に注意して読んだり、明快な文章を書いたりして伝えている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に着けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う。

[illegible]

[illegible]

3 学 期	E 単元 第20章 イディオム 各単元について、以下を目標とする。 【知識及び技能】 各指導事項について、読むこと、書くことの二つの領域について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各指導事項について、読むこと、書くことの二つの領域について、論理性に注意して読んだり、明かな文章を書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各指導事項について、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けていることに向けた粘り強い取り組みを行う。	・指導事項 イディオム ・教材 教科書、補助教材 (Next Stage Best Trainer, NextStage英文法語法)	○	○	○	【知識・技能】 英語の決まりに関する事項として、音声、句読法、語・連語及び慣用表現、句読法、文構造及び文法事項を知り、適切に使用できる。 【思考・判断・表現】 ①聞いたり読んだりした情報の中から、概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすることができる。 ②話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現する」ことができる。 ③情報や自分自身の考えなどを伝え合い、互いの理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けていることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。 ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査						○	○		

合計

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 実用英語

教 科： 外国語 科 目： 実用英語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（発展：大橋） （標準：小安永） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ LANDMARK English Communication III （啓林館） ）

教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 実用英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 免 ）					
1 学 期 A 単元 第1章（Inntroduction, Quest1, Quest2, Quest3） 【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・指導事項 1) 日常的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝えあう活動 ＜不定詞の形容詞的用法・副詞的用法、動名詞＞ 2) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝えあう活動。 ＜現在完了形（完了）、助動詞を含む受動態、間接疑問文、現在完了進行形＞ ・教材 教科書	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	13
							○	○		1

[illegible]

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教 科： 理科 科 目： 化学 単位数： 4 単位

対象学年組： 第3学年 A組～B組

教科担当者： 佐藤 義幸

使用教科書： （化学 vol.1 理論編（東京書籍），化学 vol.2 物質編（東京書籍））

使用教材： （新課程ニューアチーブ化学（東京書籍），サイエンスビュー化学総合資料（実教出版））

教科の目標：

- 【知識及び技能】 化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学が果たす役割について，理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。	化学が果たす役割について，観察，実験などを通して探究し，見いだして表現する技能を身に付ける。	化学が果たす役割に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1編 物質の状態 2章 気体の性質 【知識・技能】 ・圧力の単位と大気圧について理解することができるようにする。 ・ボイルの法則とシャルルの法則を理解することができるようにする。 ・気体の状態方程式を理解することができるようにする。 ・理想気体と実在気体の違いを理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 気体の性質について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を気体の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりする態度を養う。 3章 溶液の性質 【知識・技能】 ・質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度について，その計算方法を理解することができるようにする。 ・蒸気圧について理解し，溶液の場合，蒸気圧降下が起こることを説明することができるようにする。 ・フント・ホッフの法則から分子量を求める方法を理解することができるようにする。 ・コロイド粒子について，その性質を理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 溶液の性質について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を溶液の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりする態度を養う。 4章 【知識・技能】 ・単位格子と配位数について理解することができるようにする。 ・金属結晶の構造について，それぞれの配列，配位数，充填率について理解することができるようにする。 ・イオン結晶の単位格子に含まれるイオンの数と配位数について理解することができるようにする。 ・共有結合の結晶の例としてダイヤモンドの単位格子と密度，充填率について理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 固体の構造について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を固体の構造の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりする態度を養う。	1編 物質の状態 1章 物質の状態 1節 物質の三態 2節 気体・液体間の状態変化 2章 気体の性質 1節 気体 2節 気体の状態方程式 3章 溶液の性質 1節 溶解 2節 希薄溶液の性質 3節 コロイド 4章 固体の構造 1節 結晶 2節 金属結晶の構造 3節 イオン結晶の構造 4節 分子結晶と共有結合の結晶	1編 2章 【知識及び技能】 ・圧力の単位と大気圧について理解している。 ・ボイルの法則とシャルルの法則を理解している。 ・気体の状態方程式を理解している。 ・理想気体と実在気体の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 気体の性質について，観察，実験などを通して探究し，気体の性質における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を気体の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 3章 【知識及び技能】 ・質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度について，その計算方法を理解している。 ・蒸気圧について理解し，溶液の場合，蒸気圧降下が起こることを説明できる。 ・フント・ホッフの法則から分子量を求める方法を理解している。 ・コロイド粒子について，その性質を理解している。 【思考・判断・表現】 溶液の性質について，観察，実験などを通して探究し，溶液の性質における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を溶液の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 4章 【知識及び技能】 ・単位格子と配位数について理解している。 ・金属結晶の構造について，それぞれの配列，配位数，充填率について理解している。 ・イオン結晶の単位格子に含まれるイオンの数と配位数について理解している。 ・共有結合の結晶の例としてダイヤモンドの単位格子と密度，充填率について理解している。 【思考・判断・表現】 固体の構造について，観察，実験などを通して探究し，固体の構造における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を固体の構造の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようしたり，粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26

	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。					
定期考査				○	○	1
2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 【知識・技能】 ・反応エンタルピーとその符号について表し方を説明できるようにする。 ・反応エンタルピーの種類を説明できるようにする。 ・ヘスの法則を説明できるようにする。 ・結合エンタルピーについて説明できるようにする。 ・光が波であることを理解することができるようにする。 ・化学発光について例を挙げて説明できるようにする。 【思考・判断・表現】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学反応とエネルギーの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 2章 電池と電気分解 【知識・技能】 ・電池の基本的な仕組みを理解し、ダニエル電池の仕組みについて説明できるようにする。 ・主な実用電池の構造について、電極の反応式をもとに説明することができるようにする。 ・電池と電気分解の違いについて説明し、電気分解の酸化還元反応について説明できるようにする。 ・ファラデーの電気分解の法則を電極の反応式を使って説明できるようにする。 【思考・判断・表現】 電池と電気分解について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を電池と電気分解の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 【知識・技能】 ・反応物、生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解することができるようにする。 ・反応速度を変える様々な条件を理解することができるようにする。 ・反応速度式が実験によって求められることを理解することができるようにする。 ・活性化エネルギーと化学反応の経路について説明することができるようにする。 【思考・判断・表現】 化学反応の速さについて、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学反応の速さの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 2章 化学平衡 【知識・技能】 ・可逆反応、不可逆反応などの用語を正しく使って説明できるようにする。	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 1節 反応とエンタルピー変化 2節 ヘスの法則 3節 光とエネルギー 2章 電池と電気分解 1節 電池 2節 電気分解 3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 1節 反応の速さ 2節 反応速度を変える条件 3節 反応のしくみ 2章 化学平衡 1節 可逆反応と化学平衡 2節 平衡の移動 3章 水溶液中の化学平衡 1節 電離平衡 2節 塩の水への溶解	2編 1章 【知識及び技能】 ・反応エンタルピーとその符号について表し方を説明できる。 ・反応エンタルピーの種類を説明できる。 ・ヘスの法則を説明できる。 ・結合エンタルピーについて説明できる。 ・光が波であることを理解している。 ・化学発光について例を挙げて説明できる。 【思考・判断・表現】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、化学反応とエネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学反応とエネルギーの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 2章 【知識及び技能】 ・電池の基本的な仕組みを理解し、ダニエル電池の仕組みについて説明できる。 ・主な実用電池の構造について、電極の反応式をもとに説明することができる。 ・電池と電気分解の違いについて説明し、電気分解の酸化還元反応について説明できる。 ・ファラデーの電気分解の法則を電極の反応式を使って説明できる。 【思考・判断・表現】 電池と電気分解について、観察、実験などを通して探究し、電池と電気分解における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を電池と電気分解の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 3編 1章 【知識及び技能】 ・反応物、生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解している。 ・反応速度を変える様々な条件を理解している。 ・反応速度式が実験によって求められることを理解している。 ・活性化エネルギーと化学反応の経路について説明できる。 【思考・判断・表現】 化学反応の速さについて、観察、実験などを通して探究し、化学反応の速さにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学反応の速さの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 2章 【知識及び技能】 ・可逆反応、不可逆反応などの用語を正しく使って説明できる。 ・平衡定数Kの表し方と使い方を説明できる。 ・ルシャトリエの原理を理解している。 ・圧力変化による平衡移動や、濃度変化における平衡の移動を説明することができる。 【思考・判断・表現】 化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学平衡の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
1学期				○	○	38

	・平衡定数Kの表し方を使い方を説明できるようにする。 ・ルシャトリエの原理を理解することができるようにする。 ・圧力変化による平衡移動や、濃度変化における平衡の移動を説明することができるようにする。 【思考・判断・表現】 化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を化学平衡の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 3章 水溶液中の化学平衡 【知識・技能】 ・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の式を使って説明できるようにする。 ・弱酸の電離度 α が1よりかなり小さい場合の近似を理解することができるようにする。 ・水のイオン積から、pHを求めることを理解することができるようにする。 ・緩衝液についてその特徴を説明できるようにする。 ・溶解度積について、説明できるようにする。 ・溶解度積が沈殿生成に影響していることを理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 水溶液中の化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を水溶液中の化学平衡の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。						
	定期考査			○	○		1
2 学 期	4編 無機物質 【知識・技能】 ・周期表中の元素を正しく分類することができるようにする。 ・水素の製法・性質・用途を正しく理解することができるようにする。 ・酸素の製法・性質・用途を正しく理解することができるようにする。 ・ハロゲンの単体について正しく理解することができるようにする。 ・硫黄の単体、および化合物の製法・性質を正しく理解することができるようにする。 ・接触法の特徴を理解することができるようにする。 ・ハーバー・ボッシュ法について説明できるようにする。 ・リンの同素体の特徴を正しく理解することができるようにする。 ・炭素の酸化物について、正しく理解することができるようにする。 ・身近に利用されているシリカゲルの製法・性質について正しく理解することができるようにする。 ・水酸化ナトリウムの製法・性質を正しく理解することができるようにする。 ・アルカリ土類金属の特徴を正しく理解することができるようにする。 ・アルカリ土類金属の化合物の特徴・用途を正しく理解することができるようにする。 ・アルミニウムの単体の製法・性質・用途を正しく理解し、アルミニウムイオンの反応について正しく説明することができるようにする。 ・鉛(Ⅱ)イオンを含む水溶液の反応を正しく理解することができるようにする。 ・錯イオンの基本的な表記法について正しく理解することができるようにする。 ・鉄とその化合物、鉄イオンの反応について、正しく理解することができるようにする。 ・Cu^{2+}の反応について、正しく理解することができるようにする。 ・Ag^{+}の反応について、正しく理解することができるようにする。 ・Zn^{2+}の反応について、正しく理解することができるようにする。 ・クロム酸イオンの反応について、正しく理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】	4編 無機物質 1章 周期表と元素 1節 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 1節 水素とその化合物 2節 貴ガス 3節 酸素とその化合物 4節 ハロゲンとその化合物 5節 硫黄とその化合物 6節 窒素・リンとその化合物 7節 炭素・ケイ素とその化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 1節 アルカリ金属とその化合物 2節 アルカリ土類金属とその化合物 3節 1,2族以外の典型金属元素とその化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素の特徴 2節 遷移元素とその化合物 5章 金属イオンの分離と確認 1節 金属イオンが検出できる反応 2節 金属イオンの系統分離と確認	4編 【知識及び技能】 ・周期表中の元素を正しく分類することができる。 ・水素の製法・性質・用途を正しく理解している。 ・酸素の製法・性質・用途を正しく理解している。 ・ハロゲンの単体について正しく理解している。 ・硫黄の単体、および化合物の製法・性質を正しく理解している。 ・接触法の特徴を理解している。 ・ハーバー・ボッシュ法について説明できる。 ・リンの同素体の特徴を正しく理解している。 ・炭素の酸化物について、正しく理解している。 ・身近に利用されているシリカゲルの製法・性質について正しく理解している。 ・水酸化ナトリウムの製法・性質を正しく理解している。 ・アルカリ土類金属の特徴を正しく理解している。 ・アルカリ土類金属の化合物の特徴・用途を正しく理解している。 ・アルミニウムの単体の製法・性質・用途を正しく理解し、アルミニウムイオンの反応について正しく説明することができる。 ・鉛(Ⅱ)イオンを含む水溶液の反応を正しく理解している。 ・錯イオンの基本的な表記法について正しく理解している。 ・鉄とその化合物、鉄イオンの反応について、正しく理解している。 ・Cu^{2+}の反応について、正しく理解している。 ・Ag^{+}の反応について、正しく理解している。 ・Zn^{2+}の反応について、正しく理解している。 ・クロム酸イオンの反応について、正しく理解している。 【思考・判断・表現】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、無機物質における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を無機物質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	36

無機物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。						
【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を無機物質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。						
定期考査			○	○		1

2 学 期	5編 有機化合物 【知識・技能】 ・有機化合物の特徴を正しく理解することができるようにする。 ・有機化合物の構造式決定の手順を理解することができるようにする。 ・有機化合物の基礎となる直鎖状アルカンの名称を正しく理解することができるようにする。 ・アルカンの性質を正しく説明できるようにする。 ・アルカンを元にアルケンの名称や構造について理解することができるようにする。 ・シス・トランス異性体の特徴を正しく理解することができるようにする。 ・アルキンの名称や構造を理解することができるようにする。 ・アルコールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルコールの酸化反応について、正しく理解し、生成物を答えられるようにする。 ・アルデヒドのさまざまな反応について、その特徴を理解し、説明することができる。 ・アルデヒドとケトンの生成についてアルコールの学習から正しく考えることができるようにする。また、ヨードホルム反応を生じる化合物の構造の特徴について理解することができるようにする。 ・カルボン酸の生成について、アルコールの学習から正しく考えることができる。 ・エステルと特徴について、正しく理解することができるようにする。 ・油脂とは何か、構造とともに正しく説明することができる。 ・芳香族化合物とは何か理解し、代表的な芳香族炭化水素を答えられるようにする。また、その反応について、正しく理解することができるようにする。 ・フェノール類の名前を正しく理解することができるようにする。 ・芳香族カルボン酸の性質を正しく理解することができるようにする。 ・アニリンの合成方法を正しく理解することができるようにする。 ・ジアゾカップリングについてその構造と用途について正しく理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を有機化合物の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 1節 有機化合物の特徴 2節 有機化合物の構造式の決定 2章 炭化水素 1節 飽和炭化水素 2節 不飽和炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 1節 アルコールとエーテル 2節 アルデヒドとケトン 3節 カルボン酸 4節 エステル・油脂・セッケン 4章 芳香族化合物 1節 芳香族炭化水素 2節 フェノール類と芳香族カルボン酸 3節 芳香族アミンとアゾ化合物 4節 芳香族化合物の分離	5編 【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴を正しく理解している。 ・有機化合物の構造式決定の手順を理解している。 ・有機化合物の基礎となる直鎖状アルカンの名称を正しく理解している。 ・アルカンの性質を正しく説明できる。 ・アルカンを元にアルケンの名称や構造について理解することができる。 ・シス・トランス異性体の特徴を正しく理解している。 ・アルキンの名称や構造を理解することができる。 ・アルコールの構造と分類方法を正しく説明できる。 ・アルコールの酸化反応について、正しく理解し、生成物を答えられる。 ・アルデヒドのさまざまな反応について、その特徴を理解し、説明することができる。 ・アルデヒドとケトンの生成についてアルコールの学習から正しく考えることができる。また、ヨードホルム反応を生じる化合物の構造の特徴について理解している。 ・カルボン酸の生成について、アルコールの学習から正しく考えることができる。 ・エステルの構造と特徴について、正しく理解している。 ・油脂とは何か、構造とともに正しく説明することができる。 ・芳香族化合物とは何か理解し、代表的な芳香族炭化水素を答えられる。また、その反応について、正しく理解している。 ・フェノール類の名前を正しく理解している。 ・芳香族カルボン酸の性質を正しく理解している。 ・アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ジアゾカップリングについてその構造と用途について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を有機化合物の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	6編 高分子化合物 【知識・技能】 ・高分子化合物とは何か、正しく説明できるようにする。 ・天然高分子化合物の構成について、正しく理解できるようにする。 ・糖の基本的な表し方、構造、特徴について正しく理解できるようにする。 ・デンプンの構造について正しく理解できるようにする。 ・ニトロセルロースについて正しく理解できるようにする。 ・再生繊維について正しく理解できるようにする。 ・α-アミノ酸について、正しく理解できるようにする。 ・アミノ酸の反応について、その構造から説明できるようにする。 ・ペプチドについて正しく理解できるようにする。 ・タンパク質の分類について正しく説明できるようにする。 ・タンパク質の構造について正しく理解できるようにする。 ・タンパク質の呈色反応について正しく理解できるようにする。 ・ナイロンの構造について、正しく理解できるようにする。 ・熱可塑性樹脂について、正しく理解できるようにする。 ・フェノール樹脂の製法について正しく理解できるようにする。 ・イオン交換樹脂について正しく説明できるようにする。 ・天然ゴムについて、その特徴を正しく理解できるようにする。 ・合成ゴムについて、その構造も含めて正しく理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を高分子化合物の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 1節 高分子化合物の分類と特徴 2章 天然高分子化合物 1節 単糖類と二糖類 2節 多糖類 3節 アミノ酸 4節 タンパク質 3章 合成高分子化合物 1節 合成繊維 2節 合成樹脂 3節 ゴム 7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 1節 ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用 2節 物質の工業的製法 2章 未来を創る化学 1節 物質を通して未来を創る 2節 物質を通して未来を考える	6編 【知識及び技能】 ・高分子化合物とは何か、正しく説明できる。 ・天然高分子化合物の構成について、正しく理解している。 ・糖の基本的な表し方、構造、特徴について正しく理解している。 ・デンプンの構造について正しく理解している。 ・ニトロセルロースについて正しく理解している。 ・再生繊維について正しく理解している。 ・α-アミノ酸について、正しく理解している。 ・アミノ酸の反応について、その構造から説明できる。 ・ペプチドについて正しく理解している。 ・タンパク質の分類について正しく説明できる。 ・タンパク質の構造について正しく理解している。 ・タンパク質の呈色反応について正しく理解している。 ・ナイロンの構造について、正しく理解している。 ・熱可塑性樹脂について、正しく理解している。 ・フェノール樹脂の製法について正しく理解している。 ・イオン交換樹脂について正しく説明できる。 ・天然ゴムについて、その特徴を正しく理解している。 ・合成ゴムについて、その構造も含めて正しく理解している。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、高分子化合物における規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を高分子化合物の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとして、粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6

							合計
							140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：（A組・B組：田中遼）

使用教科書：（生物〔数研出版〕）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 生物の進化 【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化、遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第1章 生物の進化 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 遺伝子の変化と多様性 第3節 遺伝子の組み合わせの変化 第4節 進化の仕組み 第5節 生物の系統と進化 第6節 人類の系統と進化 ・教材 教科書、図説、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、スケッチ記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化、遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
	第2編 生命現象と物質 【知識及び技能】 生命現象と物質について、細胞と分子、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生命現象と物質についての特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生命現象と物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 化学反応に関わるタンパク質 ・教材 教科書、図説、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、スケッチ記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生命現象と物質について、細胞と分子、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

1 学 期	第2編 生命現象と物質 【知識及び技能】 生命現象と物質について、細胞と分子、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生命現象と物質についての特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生命現象と物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第2章 細胞と分子 第3節 化学反応に関わるタンパク質 第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸と発酵 第3節 光合成 ・教材 教科書、図説、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生命現象と物質について、細胞と分子、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生命現象と物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	第3編 遺伝情報の発現と発生 【知識及び技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現と発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子発現の調節の特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報の発現と発生に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製 第2節 遺伝情報の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第4節 発生と遺伝子発現 第5節 遺伝子を扱う技術 ・教材 教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現と発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子発現の調節の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報の発現と発生に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第4編 生物の環境応答 【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と行動と植物の環境応答の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第5章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮 第3節 情報の統合 第4節 刺激への反応 第5節 動物の行動 ・教材 教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験結果の解析	【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と行動と植物の環境応答の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第4編 生物の環境応答 【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と行動と植物の環境応答の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第6章 植物の環境応答 第1節 植物の生活と植物ホルモン 第2節 発芽の調節 第3節 成長の調節 第4節 器官の分化と花芽形成の調節 第5節 環境の変化に対する応答 第6節 配偶子形成と受精 ・教材 教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験結果の解析	【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と行動と植物の環境応答の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第5編 生態と環境 【知識及び技能】 生態と環境について、個体群と生物群集、生態系の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間の関係性及び生物と環境との関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生態と環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 第7節 生物群集と生態系 第1節 個体群の構造と性質 第2節 個体群内の個体間の関係 第3節 異なる種の個体群間の関係 第4節 生態系の物質生産と物質循環 第5節 生態系と人間生活 ・教材 教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験結果の解析	【知識及び技能】 生態と環境について、個体群と生物群集、生態系の基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間の関係性及び生物と環境との関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生態と環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	○	○	○	20
							合計
							140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：(A組発展：松柴直樹、A組標準：田中遼、B組発展：松柴直樹、B組標準：田中遼)

使用教科書：(物理基礎〔第一学習社〕)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 【知識及び技能】 運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度、物体の落下運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 物理量の測定と表し方 第1節 物体の運動 1 速さ 2 等速直線運動 3 変位と速度 4 速度の合成・相対速度 5 加速度 6 等加速度直線運動(1) 7 等加速度直線運動(2) 8 重力加速度と自由落下 9 鉛直投射 10 水平投射 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度、物体の落下運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第2節 力と運動の法則 【知識及び技能】 様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら、様々な力、力のつり合い、運動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な力とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第2節 力と運動の法則 1 力と質量 2 いろいろな力 3 力の合成・分解と成分 4 力のつり合い 5 作用・反作用の法則 6 慣性の法則 7 力と質量と加速度の関係 (1) 8 力と質量と加速度の関係 (2) 9 運動の法則 10 摩擦力 11 流体から受ける力 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら、様々な力、力のつり合い、運動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な力とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第3節 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第3節 仕事と力学的エネルギー 1 力がする仕事 2 仕事の原理と仕事率 3 運動エネルギー 4 重力による位置エネルギー 5 弾性力による位置エネルギー 6 力学的エネルギー (1) 7 力学的エネルギー (2) ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱について、観察、実験などを通して探究し、熱における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第1節 熱 1 温度と熱運動 2 熱と熱平衡 3 熱量の保存 4 物質の三態 5 熱と仕事 6 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱について、観察、実験などを通して探究し、熱における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	第Ⅱ章 波動 第1節 波の性質 【知識及び技能】 波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第1節 波の性質 1 波と振動 2 波の表し方 3 横波と縦波 4 波の重ね合わせ 5 定常波 6 波の反射 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

797	第Ⅱ章 波動 第2節 音波 【知識及び技能】 波を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第2節 音波 1 音の速さと3要素 2 波としての音の性質 3 弦の固有振動 4 気柱の固有振動 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・波を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	第Ⅳ章 電気 第1節 電荷と電流 【知識及び技能】 電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第1節 電荷と電流 1 電荷 2 電流と電気抵抗 3 物質と抵抗率 4 抵抗の接続 5 電力量と電力 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
	第Ⅳ章 電気 第2節 電流と磁場 【知識及び技能】 電気を日常生活や社会と関連付けながら、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 第2節 電流と磁場 1 磁場 2 モーターと発電機 3 交流の発生と利用 4 電磁波 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・電気を日常生活や社会と関連付けながら、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科 科：公民

科 目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 AB組

教科担当者：（A組：谷口 修太（B組：谷口 修太（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（『政治・経済』東京書籍）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】倫理・政治・経済などに関わる現代の諸課題を理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、多面的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について、理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するため必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察する。 ・公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構築した内容を議論する力を養う。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・現代社会に生きる人間としての在り方や公共的な空間に生き国民主権を担う公民として自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合う大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 【知識及び技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の日本の政治までの道のりを多面的・多角的に考察し、憲法をどのように運用しているのか、また主権者である自分たちはどのように政治参加をしていけばよいのかを追究する。	・指導事項 第1章 現代の日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解することができる。 ・現代日本の政治に関する課題を世界の政治と対比し、選挙の現状や世論形成におけるマスメディアの役割から読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 ・よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを考察し、日本国憲法が現在の日本でどのような役割を果たしているのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具田的な政策を通して、主権者である自分たちはどのように政治参加をしていけばよいのかを追究することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 単元 第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 【知識及び技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済活動の意義を考えるとともに、市場には限界があるということ、税の必要性を身近な例から追究する。	・指導事項 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・経済主体と経済の循環、企業活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解することができる。 ・需要曲線と供給曲線から物価の決定を理解し、それが日本の景気とどのような関係にあるのかを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済が抱えや社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるかを考察する。 ・企業や市場経済、国民所得などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題があるのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義を通して、市場経済の限界を知り、福祉社会とどのような関係にあるのかを追究することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【單元 第1編 現代日本の政治と経済 第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 【知識及び技能】 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させてまとめる。 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際社会の特質や国際競争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代日本の諸課題の解決に向けて、よりよい社会の在り方について合意形成や社会参画に向かう。 ・現代の国際に關わる概念や理論を理解できるとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深める。	・指導事項 第1編 現代日本の政治と経済 第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめることができる。 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとすることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	【單元 第2編 グローバル化する国際社会 第2章 現代の国際政治 【知識及び技能】 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支・国際協力の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に際して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の国際経済に關わる概念や理論を理解できるとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深める。	・指導事項 第2編 グローバル化する国際社会 第2章 現代の国際政治 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協力の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとするすることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【單元 第2編 グローバル化する国際社会 第3章 国際社会の諸課題 【知識及び技能】 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人権・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人権・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際社会の諸課題の解決に向けて、よりよい社会の在り方について合意形成や社会参画に向かう。	・指導事項 第2編 グローバル化する国際社会 第3章 国際社会の諸課題 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうとすることができる。	○	○	○	10
							合計 70

高等学校 令和6年度

教科：地理歴史

科目：地理探究

教科 地理歴史

科目 地理探究

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 AB 組

教科担当者：（A組：谷口 修太）（B組：谷口 修太）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（『新詳 地理探究』帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、地域や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを活用して、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 【知識及び技能】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。こと。 ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。こと。	・指導事項 第1章結びつく世界 序節 地球環境と人間 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食糧問題 3節 エネルギー資源活用 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業 6節 第3次産業 ・教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	B 単元 第3章 交通・通信と観光、貿易 第4章 人口、村落・都市 【知識及び技能】 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。こと。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。こと。	・指導事項 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 ・教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【単元 第5章 生活文化、民族・宗教 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 【知識及び技能】 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解すること。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技術を身につけること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活文化、民族・宗教などについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。 ・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
	【単元 第2章 現代世界の諸地域 【知識及び技能】 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的問題などについて理解すること。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的問題などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 第2章 現代世界の諸地域 序節 地域の考察方法 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN諸国 4節 インド 5節 にアジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 7節 旧諸国 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オーストラリアとニュージーランド ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的問題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的問題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【単元 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 【知識及び技能】 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域、構造、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。	・指導事項 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の研究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な日本の国土像の研究 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント提示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域、構造、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	26
							合計 140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当：（ A組：坂場俊太 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 詳説世界史探究 （山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料が世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を使う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を使う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 北アフリカと地中海周辺の国家形成 第6章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 ・都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解する。 ・中央ユーラシアで暮らす人々とその文化、中国王朝の変遷について理解する。 ・インドを中心とした南アジア世界と東南アジア世界における国家の形成について理解する。 ・西アジア世界におけるアケメネス朝をはじめとするイラン諸国家の興亡とペルシア・ローマを代表する地中海周辺国家の形成について特徴を踏まえたい上で理解する。 ・イスラム教の成立過程とその広がり、東西ヨーロッパの独自の世界形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな図像資料や文書資料をもとに、文明の特質や当時の諸地域の状況を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第1～4章に関して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組む。	第1章 文明の誕生 1 古代メソポタミア文明とその周辺 2 古代インド文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシア草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成 5 南北アメリカ文明 第3章 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 第5章 アラブの大制覇とイスラム教の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 ・教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 ・中央ユーラシアで暮らす人々とその文化、中国王朝の変遷について理解している。 ・インドを中心とした南アジア世界と東南アジア世界における国家の形成について理解している。 ・西アジア世界におけるアケメネス朝をはじめとするイラン諸国家の興亡とペルシア・ローマを代表する地中海周辺国家の形成について特徴を踏まえたい上で理解している。 ・イスラム教の成立過程とその広がり、東西ヨーロッパの独自の世界形成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな図像資料や文書資料をもとに、文明の特質や当時の諸地域の状況を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第1～5章に関して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査 第1回			○	○		1
	第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ・各地のイスラム化の進展やアッバース朝衰退後の西アジアの連帯について理解する。 ・キリスト教普及によるヨーロッパ世界の変容について、従来の世界との比較し、各国の情勢について理解する。 ・10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解する。 ・「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおける動きや、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 ・オスマン帝国、ムガル帝国、清国などアジアの諸帝国がどのようにして繁栄したのかについて周辺諸国との関係を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな図像資料や文書資料をもとに、各地域の状況について多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第6～10章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組む。	第6章 1 イスラム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 第7章 西ヨーロッパの封建社会とその展開 第8章 東ヨーロッパ世界の展開 第9章 西ヨーロッパ世界の変容 第10章 西ヨーロッパの中世文化 第11章 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 第12章 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の発見 第13章 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域 ・教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各地のイスラム化の進展やアッバース朝衰退後の西アジアの連帯について理解する。 ・キリスト教普及によるヨーロッパ世界の変容について、従来の世界との比較し、各国の情勢について理解する。 ・10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解する。 ・「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおける動きや、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 ・オスマン帝国、ムガル帝国、清国などアジアの諸帝国がどのようにして繁栄したのかについて周辺諸国との関係を踏まえて理解する。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな図像資料や文書資料をもとに、各地域の状況について多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第6～10章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査 第2回			○	○		1

2 学 期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と長大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 - ルネサンスや宗教改革、主権国家体制の成立など近世ヨーロッパの動向についてそれぞれのヨーロッパの状況と比較したうえで理解する。 - 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命などが起こった要因や背景を理解する。 19世紀のヨーロッパ情勢の推移をウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解する。 - 当時のヨーロッパ列強とアジア諸国との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - さまざまな図像資料や文書資料をもとに、近世ヨーロッパ世界とアジア諸地域との関係について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 第11～14章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組む。	第11章 - ルネサンス - 宗教改革 - 主権国家体制の成立 - オランダ・イギリス・フランスの台頭 - 北欧・東欧の動向 - 科学革命と啓蒙思想 第12章 - 産業革命 - アメリカ合衆国の独立と発展 - フランス革命とナポレオンの支配 - 中南米諸国の独立 第13章 - ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会 - 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 - アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 第14章 - アジア地域の変容 - 南アジア・東南アジアの植民地化 - 東アジアの激動 - 教科書 プリント - 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - ルネサンスや宗教改革、主権国家体制の成立など近世ヨーロッパの動向についてそれぞれのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 - 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命などが起こった要因や背景を理解している。 19世紀のヨーロッパ情勢の推移をウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 - 当時のヨーロッパ列強とアジア諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 - さまざまな図像資料や文書資料をもとに、近世ヨーロッパ世界とアジア諸地域との関係について多面的・多角的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 第11～14章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査 第3回			○	○		1
	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 - 帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、アジアの民族運動を理解する。 - 第一次世界大戦とその後形成された国際秩序の経緯やその特徴、その後の国際関係の変化について理解する。 - 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 - 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯、大戦後形成された国際秩序の特徴を、それ以前の相違点をふまえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - さまざまな図像資料をもとに帝国主義、第一次世界大戦、第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 第15～17章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組む。	第15章 - 第2次産業革命と帝国主義 - 列強の世界分割と列強体制の二分化 - アジア諸国の変革と民族運動 第16章 - 第一次世界大戦とロシア革命 - ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 - アジア・アフリカ地域の民族運動 第17章 - 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 - 第二次世界大戦 - 新しい国際秩序の形成 - 教科書 プリント - 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、アジアの民族運動を理解している。 - 第一次世界大戦とその後形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 - 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解している。 - 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯、大戦後形成された国際秩序の特徴を、それ以前の相違点をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 - さまざまな図像資料をもとに帝国主義、第一次世界大戦、第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 第15～17章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査 第4回			○	○		1
3 学 期	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦終結と今日の世界 【知識及び技能】 - 冷戦・第三勢力の台頭がどのように進展し終結したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどあわせて理解する。 - 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解する。 【思考力、判断力、表現力】 - 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 第18～19章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組む。	第18章 - 冷戦の激化 - 第三世界の台頭とキューバ危機 - 冷戦体制の動揺 第19章 - 産業構造の変容 - 冷戦の終結 - 今日の世界 - 現代文明の諸相 - 教科書 プリント - 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 冷戦・第三勢力の台頭がどのように進展し終結したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどあわせて理解する。 - 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解する。 【思考・判断・表現】 - 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 第18～19章に関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
							合計
							140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：天野・中田

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館） ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる力を養う。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 体ほぐしの運動 補強運動 新体力テスト ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	A 体づくり運動 【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	6

E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 アルティメット、テニス ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	16
D 水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
II 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 スポーツの発祥と発展 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	II 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2

2 学 期	D 水泳	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10
	E 球技	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、ことなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 【選択】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、ことなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	20

2 学 期	H 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 運動・スポーツの学び方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	H 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2
3 学 期	E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。	・指導事項 【選択】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス ・教材 教科書、プリント、各用具 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
	H 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 豊かなスポーツライフの設計 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用等	H 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	2
							合計
							70

高等学校令和6年度（3学年用）教科		情報	科目	情報Ⅱ（海洋探究系）
教科：	情報	科目：	情報Ⅱ（海洋探究系）	2単位
対象学年組：第 3 学年 A 組				
教科担当者：（A組：浅沼翔太）				
使用教科書：（「情報Ⅱ」（東京書籍））				
使用教材：（「情報Ⅱ 学習ノート」（東京書籍））				
教科 情報 の目標：				
【知識及び技能】 ・情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。				
【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。				

科目 情報Ⅱ の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
・多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。	・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	
・情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1) 情報社会の進展と情報技術 【知識及び技能】 情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展やコミュニケーションの多様化、人の知的活動への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用、人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を活用することにより、問題の発見と解決の提案を行う一連の活動を通して、生徒が主体となって話し合い、よりよい解決方法の実現を目指す資質・能力を養う。	(理論編) 1 章 情報社会 01 情報社会の進展と情報技術 02 コミュニケーションの多様化 03 人間の知的活動へ影響 ・章末資料 ・1 章のまとめ ・章末問題 (実習編) 1 章 情報社会 01 うわさの研究 02 地域のデータを可視化しよう 03 人工知能と仕事を考える 04 POSシステムを調べる	【知識・技能】 ・情報技術を適切に活用する方法やコミュニケーションの手段の特徴を理解している。 ・社会を支える情報システムについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報社会の進展で発生しうる問題に対応する方法について考えるとともに、身近な情報システムがどのように連携されているのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人工知能と仕事との関わりや生成AIの活用方法について提案しようとしている。	○	○	○	10
	中間検査			○	○		1
	2) コミュニケーションとコンテンツ 【知識及び技能】 多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性を踏まえて、文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付け、コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し、組合せを考えながら、情報デザインに配慮したコンテンツを制作し、コンテンツを社会に発信したときの効果や影響を考え、発信の手段やコンテンツを評価して改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作して発信する際に、情報デザインに配慮しながらグループで協働して取り組み、評価や改善を通じてよりよいコンテンツを制作したり発信したりするための資質・能力を養う。	(理論編) 2 章 コンテンツ 04 メディアの特性と利用 05 コンテンツの制作 06 コンテンツの発信 ・章末資料 ・2 章のまとめ ・章末問題 (実習編) 2 章 コンテンツ 05 プログラムで絵を描こう 06 3Dの新製品の開発をしよう 07 キャラクターを動かそう 08 楽しく体を動かそう 09 情報をまとめよう 10 学校PRプロジェクト 11 情報のチェックリストを作ろう 12 プロジェクションマッピング	【知識・技能】 ・コミュニケーションの形態とメディアの利用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・効果的なコミュニケーションの形態とメディアの特性との組み合わせを判断しつつ、メディアを統合したコンテンツを制作するための具体的な方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際の記事や広告の内容を多角的な視点で検証しながら、制作したコンテンツの内容を振り返り、生成AIを検証の手段として活用しようとしている。	○	○	○	15
	期末検査			○	○		1

2 学 期	③ 情報とデータサイエンス 【知識及び技能】 多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形やデータに基づく現象のモデル化やデータ処理の結果を基にモデルを評価し改善する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、適切なデータを収集して整理し、整形しながら、将来の現象を予測したり、複数の現象間の関連を明らかにしたりするために、適切なモデル化や処理、解釈・表現を行い、モデルやデータ処理の結果を評価し、モデル化や処理、解釈・表現の方法を改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術が発達しても人間の判断が必要な部分があるのかについて討論することを通して、データサイエンスを用いた問題の解決に必要な資質・能力を養う。	(理論編) 3章 データサイエンス 07 社会にあふれるデータ 08 データベースの管理と操作 09 データの収集と整理 10 データの分析と分類 11 モデルの評価と検証 12 機械学習と人工知能 ・章末資料 ・3章のまとめ ・章末問題 (実習編) 3章 データサイエンス 13 データを地図上に可視化する 14 ガチャは何回引けば当たるのか 15 データを整理しよう 16 キーボードの配列を研究しよう 17 星座ランキングを分析しよう 18 好きなものをマップにしよう	【知識・技能】 ・データの特性やデータを分析する方法について理解している。 ・機械学習と人工知能を活用したデータ分析の手法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・データベースを操作するための命令について考えとともに、目的に応じて内容を分析する方法を判断することができる。 ・分析結果の適切さについて考察しながら、機械学習での教師あり学習と教師なし学習の違いについて判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・シミュレーションのプログラムやモデルの数式を変更して、より実践的なデータ分析を試みようとしている。	○	○	○	15
	中間考査			○	○		1
	④ 情報システムとプログラミング 【知識及び技能】 情報システムにおける情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術、情報システムの設計を表記する方法、設計、実装、テスト、運用等のソフトウェア開発のプロセスとプロジェクト・マネジメント、プログラムを制作する方法について理解し、その技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムによって提供されるサービスの在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察しながら、開発の効率や運用の利便性に配慮して設計し、情報システムを構成するプログラムを制作する過程について改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報システムの設計に関する一連の過程を通して、作品の自己評価や相互評価を行い、それに基づいて情報システムを評価して改善する。	(理論編) 4章 情報システム 13 情報システム 14 情報セキュリティ技術 15 情報システムの設計 16 情報システムのプログラム ・章末資料 ・4章のまとめ ・章末問題 (実習編) 4章 情報システム 19 ニャブレットを探索！ 20 顔検出とARを体験しよう 21 小さな情報システムを作ろう 22 テキストマイニングしてみよう 23 掲示板システムを作ろう	【知識・技能】 ・情報システムを構成する具体的な情報技術や情報セキュリティを確保する技術について理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報システムを設計するために必要な信頼性について考えとともに、情報システムのトラブルを防ぐための適切なセキュリティ対策を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ARのメカニズムについて科学的に考察するとともに、生成AIを活用して様々な応用事例に関する事例を調べようとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
3 学 期	⑤ 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究 【知識及び技能】 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	(理論編) ・「情報Ⅱ」のまとめ (実習編) ・「情報Ⅱ」のまとめ ※生徒の興味・関心や学校の実態に応じて、コンピュータや情報システムの基本的な仕組みと活用、コミュニケーションのための情報技術の活用、データを活用するための情報技術の活用、情報社会と情報技術の中から課題を設定して問題の発見・解決に取り組ませる。	【知識・技能】 ・これまでの「情報Ⅱ」の学習内容を通じて、情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・これまでの「情報Ⅱ」の学習内容を通じて、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力が養われている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの「情報Ⅱ」の学習内容を通じて、情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度が身に付いている。	○	○	○	16
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 海洋生物C

教科 科：水産 科目：海洋生物C 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ A組：倉澤 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 海洋生物（海文堂） ）

教科 水産

の目標：

【知識及び技能】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋生物C	の目標：
【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】
海洋生物について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	海洋生物を取り巻く課題を発見し、海洋生物に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	水産資源の管理や有効利用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	海洋動物 【知識及び技能】 海洋動物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋動物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係に関する課題を発見し、地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋動物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係について自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋動物の概要 海洋生物の環境 生態系 ・教材 海洋動物に関連した最新情報 揭示されている記事 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 海洋動物の環境について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋動物に関する環境を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋動物に関する環境について自ら学び、水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	海洋植物 【知識及び技能】 海洋植物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋植物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係に関する課題を発見し、地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋植物の分類、形態、生理、生態及び海洋環境との関係について自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋植物の概要 海洋生物の環境 生態系 ・教材 海洋植物に関連した最新情報 揭示されている記事 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 海洋植物の環境について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋植物に関する環境を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋植物に関する環境について自ら学び、水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学期	プランクトン 【知識及び技能】 プランクトンに関する基礎的な内容について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 プランクトンを取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 プランクトンについて自ら学び、水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 プランクトンの概要 生物の種と分類 プランクトンと人間との関わり ・教材 プランクトンに関連した最新情報 揭示されている記事 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プランクトンの環境について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 プランクトンに関する環境を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 プランクトンに関する環境について自ら学び、水産資源の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

2 学 期	水産資源管理 【知識及び技能】 水産資源の資源量の種類、推定方法及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 水産資源の分類、特徴及び海洋環境との関係に関する課題を発見し、地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 水産資源の分類、特徴、海洋環境との関係について自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 水産資源 水産資源の特徴 ・教材 水産資源に関連した最新情報が掲示されている記事 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 水産資源について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 水産資源を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産資源について自ら学び、その管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	水産資源管理 【知識及び技能】 水産資源の資源量の種類、推定方法及び海洋環境との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 水産資源の分類、特徴及び海洋環境との関係に関する課題を発見し、地球環境や人間生活に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 水産資源の分類、特徴、海洋環境との関係について自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 水産資源 水産資源の特徴 ・教材 水産資源に関連した最新情報が掲示されている記事 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 水産資源について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 水産資源を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産資源について自ら学び、その管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 課題研究

教科：水産 科目：課題研究 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：倉澤 清水 小原 橋本 堺 西山）

使用教科書：（）

教科 水産 の目標：

【知識及び技能】水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 研究とは 【知識及び技能】 研究に関する基礎的な考え方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋を研究する事について自ら学び、海洋秩序や海洋の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 研究理解 ・教材 PCによる意義や方法の紹介 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 科学的な海洋の研究方法について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋について自ら学び、科学的に発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	B 研究活動① 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（計画立案） 研究活動（実験、調査、情報収集） 研究活動（データ整理、分析） ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学期	B 研究活動① 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（計画立案） 研究活動（実験、調査、情報収集） 研究活動（データ整理、分析） ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	30

3 学 期	C 研究活動③ 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（考察） 発表 ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 課題研究

教科：水産 科目：課題研究 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：倉澤 清水 小原 橋本 堺 西山）

使用教科書：（ ）

教科 水産 の目標：

- 【知識及び技能】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 研究とは 【知識及び技能】 研究に関する基礎的な考え方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋を研究する事について自ら学び、海洋秩序や海洋の管理や有効利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 研究理解 ・教材 PCによる意義や方法の紹介 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 科学的な海洋の研究方法について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋について自ら学び、科学的に発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B 研究活動① 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（計画立案） 研究活動（実験、調査、情報収集） 研究活動（データ整理、分析） ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	25
2 学 期	B 研究活動① 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（計画立案） 研究活動（実験、調査、情報収集） 研究活動（データ整理、分析） ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	45

3 学 期	C 研究活動③ 【知識及び技能】 研究活動を通じて水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、それを解決するための策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する過程を通じて能力の向上を目指して自ら学び、海洋の維持や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を目指す。	・指導事項 研究活動（考察） 発表 ・教材 既存の論文 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 論文作成について基礎的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 海洋に関する課題を発見し、合理的かつ創造的にそれを解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究及び論文作成論文について自ら学び、発見した課題を解決するために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	25
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 海洋情報処理

教科 科：水産 科目：海洋情報処理 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組：小原・浅沼）

使用教科書：（ ）

- 教科 水産
- の目標：
- 【知識及び技能】
- 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋における情報処理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	水産や海洋における情報処理に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	水産や海洋における情報処理の主体的な活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 グラフの読み取り 【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ・散布図の読み取り方 ・教材 Microsoftアプリケーションワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		○	○	7
					○	○	6
	定期考査			○			1
	単元 データの整理 【知識及び技術】 データの整理方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの整理方法に関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 データの整理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ・散布図の読み取り ・教材 水産白書 大学入試問題過去問 Microsoftアプリケーションワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 データの整理方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 データの整理方法に関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 データの整理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		○	○	6
					○	○	6
	定期考査			○	○		1

	単元 グラフの読み取り 【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。	・指導事項 棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ・散布図の読み取り方 ・教材 Microsoftアプリケーションワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。		○	○	12	
	定期考査				○	○	1	
2 学期	単元 データの検討 【知識及び技術】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容に関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。	・指導事項 データのまとめ方 グラフの作成方法 ・教材 水産白書 大学入試問題過去問 Microsoftアプリケーションワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容に関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 実験で得られたデータの活用や統計学の基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。			○	○	13
	定期考査				○	○	1	
	単元 グラフの読み取り 【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。	・指導事項 棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ・散布図の読み取り方 ・教材 Microsoftアプリケーションワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 グラフを読み取る方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの読み取りに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフの読み取りについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。		○	○	8	
3 学期	単元 PCの活用 【知識及び技術】 様々なPCアプリケーションの活用方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なPCアプリケーションの活用における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なPCアプリケーションの活用について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。	・指導事項 Excel・PowerPoint・Wordの活用 ImageJの使い方 ・教材 Microsoftアプリケーション ImageJ ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 様々なPCアプリケーションの活用方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なPCアプリケーションの活用における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なPCアプリケーションの活用について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。			○	○	8
							合計	
							70	

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 海洋政策B

教 科：水産 科 目：海洋政策B 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 A組～ 組
教科担当者：（A組：倉澤 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書：（ ）

- 教科 水産 の目標：
- 【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋政策B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や水産に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	今後の海洋や水産業の課題を見据えて自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 国土交通分野の海洋政策 【知識及び技能】 国土交通分野における基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国土交通分野に関する課題を発見し、その解決策を考え、他者に伝える力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 国土交通分野についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋基本法 自然災害対策 海の次世代モビリティ 海洋人材 ・教材 配布プリント 国土交通白書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国土交通分野における海洋政策に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国土交通分野に関する課題を発見し、その解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国土交通分野の海洋政策について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	B 環境分野における海洋政策 【知識及び技能】 環境分野における基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 環境分野に関する課題を発見し、その解決策を考え、他者に伝える力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 環境分野についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋環境学 生分解性プラスチック 海洋ゴミ 油污染 放射性物質 ・教材 配布プリント 環境・循環型社会・生物多様性 白書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 環境分野における海洋政策に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 環境分野に関する課題を発見し、その解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境分野の海洋政策について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期	C 農林水産分野における海洋政策 【知識及び技能】 水産分野における基礎的な知識や技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 水産分野に関する課題を発見し、その解決策を考え、他者に伝える力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 水産分野についての知見や課題を自ら学び、産業や災害の課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 IWC 漁業法 CITES 水産資源管理 養殖業の発展 ・教材 配布プリント 水産白書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 水産分野における海洋政策に関する新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 水産分野に関する課題を発見し、その解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水産分野の海洋政策について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	23
	D 国際開発協力分野における海洋政策 【知識及び技能】 開発協力分野における基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 開発協力分野における課題を発見し、その解決策を考え、他者に伝える力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 開発協力についての知見や課題を自ら学び、その分野における課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 海洋プラスチックごみ問題 マリンイニシアティブ プラスチック汚染に関する法的拘束力のある国際文書 ・教材 配布プリント 開発協力白書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 開発協力分野の新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 開発協力分野の課題を発見し、その解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 開発協力分野の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1

3 学 期	E 文部科学分野における海洋政策学 【知識及び技能】 文部科学分野における基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文部科学分野における課題を発見し、その解決策を考え、他者に伝える力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 文部科学分野についての知見や課題を自ら学び、その分野における課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 「第3期海洋基本計画」 海洋環境変化に係るデータの取得 「海洋情報把握技術開発」 「海洋生物ビッグデータ活用技術高度化」 ・教材 配布プリント 文部科学白書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 文部科学分野の新たな知見について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文部科学分野の課題を発見し、その解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文部科学分野の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 水産 科目 海洋環境

教 科： 水産 科 目： 海洋環境

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組： 清水 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 海洋環境（海文堂出版） ）

教科 水産 の目標：

【知識及び技能】 海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	科学的な視点で海洋や海洋環境に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	海洋環境管理や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第4章 海洋工事と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 漁場造成技術 第2節 ウォータフロント開発 第3節 環境改善技術 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第4章 海洋工事と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 漁場造成技術 第2節 ウォータフロント開発 第3節 環境改善技術 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第4章 海洋に関する探究活動 【知識及び技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 探究活動の概要 第2節 探究活動の進め方 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第4章 海洋に関する探究活動 【知識及び技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 探究活動の概要 第2節 探究活動の進め方 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	1 海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第2章 資源増殖と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 水産生物と環境要因 第2節 環境保全型養殖 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	1 海洋環境管理の概要【知識・技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	第2章 資源増殖と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 水産生物と環境要因 第2節 環境保全型養殖 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	1 海洋環境管理の概要【知識・技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
							合計 70